みんなの党 通信 Vol.9
みんなの党 東京都第15区支部長
衆議院議員 柿沢未途
発行所：東京都江東区富岡1-26-21 みんなの党東京都第15区支部　発行人：衆議院議員 柿沢未途　www.310kakizawa.jp　TEL 03-5620-3104　FAX 03-5620-3105

〈特別レポート〉

「尖閣諸島」が投げかけた日本の国家主権の危機

9月7日、尖閣諸島沖で中国漁船が海上保安庁の巡視船に衝突。中国人船長が公務執行妨害で逮捕されました。突然の船長釈放、中国国内で相次ぐ反日デモなど、政府の対中外交の姿勢が厳しく問われる事態が続いています。国会では菅内閣の閣僚が不可解な答弁を繰り返し、国民の間には釈然としない思いがうず巻いています。そんな中、このほど結成された超党派議連のメンバーが、尖閣諸島の視察を決行しました。上空から見た尖閣の島々。そして、国境の離島で30年以上にわたり危険な操業を強いられてきた地元の漁民の皆さんの声――。議連メンバーとしてこの視察に参加した柿沢未途のレポートをお届けします。

「国家主権と国益を守るために行動する議員連盟」の尖閣諸島視察メンバー。左から藤田幸久氏、橘秀徳氏、原口一博氏、瑞慶覧長敏氏、河井克行氏、柿沢未途。

上空からのぞむ魚釣島。

11時06分 石垣空港を離陸。「パイパーマリブ」という単発のプロペラ機として最速のセスナ機。海上1500フィート（450m）を、時速150ノット（280㎞／h）の速さで、尖閣諸島を目指す。沖縄本島に大雨洪水警報が出ている荒れ模様の天候だったが、幸い、石垣島周辺は曇りで、雲から少し晴れ間も。

機内では4人の議員が、低い天井に身をかがめるようにして、ひしめき合うように座っている。小さな機体は乱気流で揺られ、まるでジェットコースターのよう。

11時28分 進路の先の海上にうっすらと、2つの三角形を連ねたような魚釣島のシルエットが。離陸から20分余り。日本中が注目し、世界中が議論する、南洋の国境の無人島が、ついにその姿を現した。

セスナから、魚釣島のシルエットが、うっすらと見えてきました。「あれか！」

10月9日、超党派の国会議員で結成された「国家主権と国益を守るために行動する議員連盟」の一員として、あの尖閣諸島を視察してきました。

三連休の初日の土曜日、リゾート客でにぎわう朝6時台直行便で石垣島へ飛びました。そして民間からチャーターした小型セスナ機に乗り換え、そのまま尖閣諸島に飛び立ちました。

尖閣問題が国内外の大きな火種になる中での視察とあって、空港ビルの屋上では、報道各社のテレビカメラが離陸を待ち構えています。

セスナ機に乗り込んだのは、議連の共同座長を務める民主党の原口一博・前総務大臣、自民党の河井克行代議士、民主党の藤田幸久参院議員、そしてみんなの党の柿沢未途の4人の議員です。今回の視察は民主党の橘秀徳代議士、また地元の瑞慶覧長敏（ずけらんちょうびん）代議士（民主党）も参加しましたが、残念ながらセスナ機の定員の問題で一緒に行く事ができませんでした。

（→中面へ続く）

かきざわみと／昭和46年1月21日生まれ。江東区立数矢小、麻布中・高、東京大学法学部卒。NHK記者、都議2期を経て、昨年8月の衆院選で渡辺喜美代表率いるみんなの党東京第15区から立候補、比例復活当選。衆院国土交通、総務委員会委員。先の通常国会での質問回数58回は全国会議員の中で最多となっている。

写真右／魚釣島の海岸線。

写真左／視察に使用したセスナ機。小型機のため、視察メンバー全員の搭乗ができなかった。

11時45分 魚釣島の上空へ。セスナ機がぐっと高度を下げる。右旋回しながら魚釣島を一周。政治団体が設置し、現在、政府が管理する小さな灯台が見えた。低空飛行で揺れが激しくなり、時折、急降下で天井に頭を打ちつけながらも、必死で窓に食らいつくように魚釣島を凝視し、同時にカメラで撮影を行なった。魚釣島に今や1000頭近くも繁殖し、駆除を求められているヤギの姿は見つからなかった。

魚釣島の東、対になる北小島、南小島を旋回し、セスナ機は進路を北へ。

12時00分 尖閣諸島最北の久場島。その名の通り、沖縄特有のヤシ科のクバの木が一面に生えており、鮮やかな緑に彩られた島。この久場島の北北西12㎞の領海上で、9月7日の中国漁船衝突事件が発生した。

周辺の海域では、〝JAPAN COAST GUARD〟と書かれた海上保安庁の巡視船が警戒にあたっている姿が見られた。

12時08分 久場島の東にある大正島に到着。海面に突き出た岩のような小島。これで尖閣諸島のすべての島を視察終了。魚釣島に戻り、一路、石垣空港へ。

12時45分 石垣空港着。いわば決死の視察飛行を無事、完了した原口代議士以下4人は、がっちり握手して、石垣空港へと降り立つ。

このように尖閣諸島の島々を一つ一つ、くまなく回り、その様子をつぶさに見てきました。事件当時のように周辺海域に外国漁船が操業しているのではないかと探しましたが、漁船らしき船の姿は見当たりませんでした。

ガクガク揺れながら窓越しにカメラのファインダーを覗いていると、三半規管をやられ、次第に飛行機酔いになりました。さらに悪い事に途中から機内のエアコンが故障し、蒸し風呂のようになり、帰りの機内では4議員とも汗だくで、ぐったりしていました。想像以上のハードな行程で、同行したテレビカメラマンも「今までで最も過酷なカメラワークだった」と語っていたほどです。

！

その後、海上保安庁の石垣海上保安部にて、第11管区海上保安本部から説明を受けました。前述のように視察飛行では尖閣周辺に漁船の姿を見つける事はできませんでした。しかし説明によれば、事件現場となった久場島から30マイル北の領海外には、今日もなお30隻位の中国のトロール漁船がいて、操業していたそうです。

尖閣諸島の北の海域では、8月中旬から突如、数百隻もの中国のトロール漁船が大量に押し寄せ、操業を始めたという事です。さらに9月上旬には一部、領海内に入ってきたので、海保巡視船がマンツーマンで対応していました。そうした中で海保巡視船「よなくに」「みずき」と中国漁船との衝突事件が起きたのです。衝突事件について、私から質問しました。

「国会では衝突ビデオの提出の是非が議論されている。『ビデオを見れば中国漁船がぶつかってきた事は一目瞭然』と前原外相が語る一方、ビデオが非公開なのを良い事に、中国メディアは『日本の巡視船がぶつかってきた』と主張している。事件を現場で処理した海保に聞くが、真相はどうなのか。中国漁船が体当りしてきた事実が明白であったのか」。

これに対して、石垣海上保安部の担当者は**「私も船乗りです。もちろんビデオも見ていますし、乗組員から当時の状況も聞きましたが、故意にぶつかってきた事は明々白々です。2回の衝突ともです」**。きっぱり断言しました。

ビデオが公開されていない中で、これは極めて重要な証言だと思います。それに、これだけはっきり証言するのは、ビデオの非公開によって衝突事件の責任の所在がうやむやになっている現状が、よほど悔しいのではないかと感じました。

続いて、場所を変え、地元の石垣市、宮古島市、竹富町、また八重山漁協の皆さんとの意見交換会を開きました。中山義隆・石垣市長はじめ地元の皆さんは私達の視察訪問

視察を終え、報道陣の質問にこたえる。

海上保安庁の巡視船。

を非常に歓迎してくれました。八重山漁協の皆さんは切々と窮状を語りました。

《石垣島から尖閣周辺の海域は上質なマグロやカツオのとれる好漁場。そこに北から中国漁船が、南や西から台湾漁船が入り込み、わが物顔に漁をしてきた。9月の衝突事件直後は中国の漁業監視船が尖閣周辺に南下してきて、このままでは領海内で操業しているのに拿捕され中国に連行されかねない。「こんな有様を、私達は30年も泣き寝入りしてきたのです」。

こんな状況下で、今回の中国人船長釈放によって「日本に逮捕されても大丈夫だ。圧力をかければ釈放される」と思われたらどうなるか。来年、ほとぼりが冷めた頃に、今まで以上の何百隻もの漁船が中国や台湾から押し寄せ、水産庁も海保ももはや手の施しようもない状態になってしまうのではないか――。》

意見交換会の最後、沖縄県漁連の会長も務めた下地敏彦・宮古島市長の**「私達はごく当たり前の事しか言っていません。自国の領海で安全安心に操業したい、それのどこがおかしいのですか」**との言葉は、胸に突き刺さりました。

原口代議士をはじめとする議連メンバーからは、尖閣周辺で安心して漁ができるよう、魚釣島における漁船の荒天時の避難港の整備や、国境の離島の皆さんの生活を守る「国境離島振興法案」の議員立法を検討する事などが表明されました。

地元の皆さんとの意見交換会。領海内で操業しながら常に拿捕の危険にさらされているなど抱える問題は多い。

これで議連メンバーは駆け足の視察を終え、帰路につきました。驚くべき事に、中国漁船の衝突事件から1ヶ月、船長釈放から2週間、世界中の注目が集まっていながら、石垣島と尖閣諸島の現地に足を運んだのは、政府はおろか、国会議員でも事実上、これが初めてだったのです。

遅すぎたぐらいの今回の視察に対して、政府与党は一貫して否定的でした。

これまで国会議員による尖閣諸島の視察にあたっては、海上自衛隊や海上保安庁が哨戒機を出して協力するのが通例でした。現に原口代議士、河井代議士とも、過去にそのような方法で視察を行っています。ところが、今回の議連による視察では、協力要請をしたにもかかわらず、政府から一切の協力を得られませんでした。それどころか原口代議士には与党議員から「行かないでもらいたい」と視察中止を求める働きかけすら水面下ではありました。

だからこそ私達は、わざわざ民間の小型セスナ機をチャーターして、木の葉のように揺られながら、過酷な尖閣視察を決行せざるを得なかったのです。

日本の国会議員が自国の領土を視察するというのに、与党議員に止められ、政府に協力を拒まれる。これでどうして、「尖閣諸島はわが国固有の領土であって、領土の問題は存在しない」（菅総理大臣）というメッセージを世界に向けて発信している事になるのでしょうか。むしろ尖閣諸島の領有権に関する中国側の主張に配慮して視察を止めていると見られかねないのではないでしょうか。

今回の尖閣問題に関する政府与党の行動は、船長釈放の決定、ビデオの非公開、そしてこの議連視察への対応など、不可解な事ばかりです。今回の視察の成果を踏まえて、今後、政府に対して、厳しく議論を行なっていきたいと思います。

X'mas & New Year Party

柿沢未途君を励ます集い2010

at Grand Prince Hotel 赤坂

昨年ご好評いただきました、みんなの党東京都第15区支部主催「柿沢未途君を励ます集い」。装いを新たに今年も開催させていただくこととなりました。街並みもクリスマス一色となる華やかなこの時期、少しだけくつろいだ気分で柿沢未途をはじめとする、みんなの党の議員らと語り合いませんか？皆さまご存知の有名なゲストも出演を予定しております。
この「みんなの党通信」をご覧いただき、柿沢未途そしてみんなの党についてご興味いただけましたら、この機会にぜひご参加いただければと思います。
詳細は柿沢未途事務所または柿沢未途公式サイトにて。

日時 平成22年12月17日(金)
18:30 開演（18:00 開場）

場所 グランドプリンスホテル赤坂
五色の間（千代田区紀尾井町1-2）

問 柿沢未途事務所 TEL 03-5620-3104

渡辺喜美代表

江田憲司幹事長

浅尾慶一郎衆院議員

山内康一衆院議員

川田龍平参院議員

松田公太参院議員

柿沢未途の国会質問が国交省のマンション行政を動かす！

マンション管理新聞の一面に取り上げられました。「国交省マンション政策室は7月29日、分譲マンションの政策に関する意見募集を発表し、同日募集を開始した。前原国交相（当時）の指示に基づく異例の措置」「同政策室によると前原国交相がマンション管理問題に関心を持つきっかけとなったのは2月26日の衆院国交委の質疑。柿沢未途議員（みんなの党）が修繕積立金の定額設定等を問題視した。春頃から国交相から意見募集の指示を受けた」。
「異例の措置」と記事にあるように、柿沢未途の質問が前原国交相を動かしました。正しい政策をきちんと提示すれば、議席数と関係なく、国政を動かす事ができると実感しました。
マンション管理適正化法の施行から10年。江東区も豊洲などベイエリアを中心にマンションの立ち並ぶ街となっています。マンション住民の生活を守るために、これからも国交委での政策提案を続けていきます。

国土交通委員会（2010年2月26日）での質問の様子は衆議院のホームページからご覧いただけます。

➡ www.shugiintv.go.jp

© ㈱マンション管理新聞社

「朝5時の男」の花壇

私の事務所には、「朝5時の男」がいる。
柿沢未途事務所が入居しているのは、築40年の古いビル。富岡1丁目、永代通りの小さな交差点にある。ビルの一角は、雑然とした植え込みだった。「これじゃダメだよ。道行く人に喜ばれるようにしなきゃ。俺に任せてよ」。私の事が心配で毎日のように事務所にやってくる後援者が言ってくれた。
土を入れ、色とりどりの花を植え、清里でもらった白樺で作った子鹿も置いた。薄暗い植え込みは見違えるようにきれいになり、向かいのスーパーに買い物に来た方々が、信号待ちの間、じっと見入るようになった。皆さん、「きれいですね」と言ってくださる。本業は床屋さんだけあって、まさに匠のビフォーアフターだ。
今も毎日、朝5時から花壇の手入れをしてくださっている。私はこういう方々に支えられている。皆さんも柿沢未途事務所を通りがかったら、ぜひ花壇をご覧ください。

2011 統一地方選挙 みんなの党は公募します。

来年4月の統一地方選（区長選・区議会議員選挙）に向けて、みんなの党は候補者を公募します。第三者審査委員会の選定を経て公認候補を決定します。公募要件は下記の通りです。

■応募資格
①日本国籍を有する満25歳以上の方（投票日までに25歳になる方を含む）
②みんなの党のアジェンダに賛同する方
③社会人としての一般常識を有する方

■応募方法
次の書類を郵送またはご持参にてご提出ください
①申請書（柿沢未途公式サイトよりダウンロード）
②卒業証明書あるいはそれに代わるもの ③戸籍抄本1通 ④住民票1通
⑤論文（2000字）：テーマ「私が政治を目指す理由」
※⑤は400字詰め原稿用紙5枚程度。
Word原稿でも可

■応募締切（第一次応募は締切ました）
第二次締切／平成22年11月末日
最終締切／平成23年3月末日
※郵送の場合当日消印有効。

みんなの党・地方議員第一号が誕生した2009年葛飾区議選。

ご応募・お問合せは
みんなの党東京都第15区支部（柿沢未途事務所）
〒135-0047 江東区富岡1-26-21 ✆03-5620-3104

柿沢未途公式サイト **www.310kakizawa.jp**

みんなの党 公式ホームページ **www.your-party.jp**　柿沢未途 Twitter **http://twitter.com/310kakizawa**